RPA学習コース

第4回目:高度なUiPath機能(2)

2021年4月15日 19時

1HB-8S 黄 蔚菁

前回のおさらい

第3回目:高度なUiPath機能(1)

- ▶ エラーハンドリング
- データテーブルの操作

~~第三回目宿題の解説&質問コーナー~~

宿題内容:

サイト「https://info.finance.yahoo.co.jp/ranking/?kd=1&tm=d&mk=1」をアクセスし、東証1部に上場する銘柄の中から、出来高先頭50位の銘柄情報を抽出して、CSVに保存してください。抽出してほしい情報は「銘柄コード、銘柄名称、前日終値、PBR」となる。

※前日終値とPBRは、銘柄詳細画面にある。



リアルタイムで表示

空の結果データテーブルを構築

銘柄一覧画面のすべて情報をデータテーブルに格納

データ行ごとに繰り返し

銘柄コードから銘柄詳細のURLを組み立てる

銘柄詳細のURLをアクセスし、前日終値、BPRを取得

空のデータ行に銘柄コード、名称、前日終値、BPRを格納

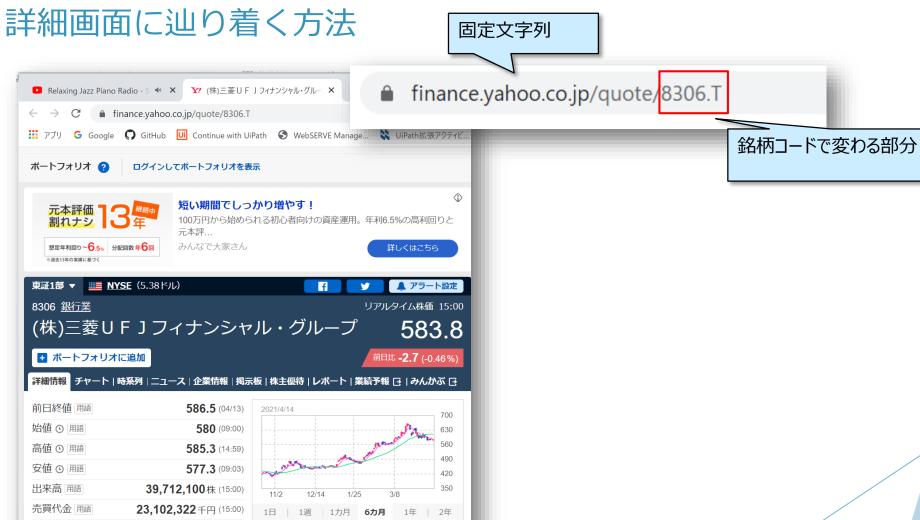
上記データ行を結果データテーブルに追加

結果データテーブルをCSVに出力

486.5~686.5 (04/14)

値幅制限 用語

① リアルタイムで表示



期間を保存

本日の勉強会を終えると、あなたは...

- ▶ 3rdパーティUiPathライブラリでロボ機能を拡張できる
- ▶ UiPathライブラリを開発できる
- ▶ C#(もしくはVB.net)でカスタマイズ機能を開発できる(C#知識が必要)
- ▶ 今日の授業を終えると、あなたはこんなロボットを作れる!



銘柄コードを入力



アジェンダ

- ▶ UiPathライブラリ
- ▶ カスタマイズコーディング(C#で実現)
- ▶ 宿題

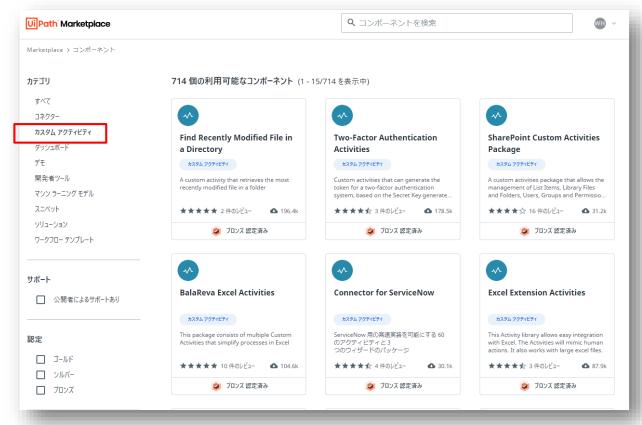
UiPathライブラリ ライブラリについて

▶ ライブラリとは、複数の再利用可能なコンポーネントを含むパッケージをいう。 ライブラリをプロジェクトに追加することにより、利用可能なアクティビティ を増やすことができ、UiPathに本来なかった機能を簡単に使える。



UiPath Marketplace

https://marketplace.uipath.com/ja



■マーケットプレース ユーザや公式が作成した部品(ア クティビティやワークフロー)等 を共有するというサービス

project.json

3rdパーティUiPathライブラリの追加 インストールして保存すると、該当ライブラリが プロジェクトの依存関係に追加される Ui パッケージを管理 ♦ 設定 フィルター: ブレリリースを含む プロジェクト依存関係 UiPathTeam.JsonRequestActivities 作成者: Nadia Malil v1.0.0 プロジェクト UiPathTeam.JsonRequestActivities 作队省: Nagia Maii A HTTP Request activity that accepts a Json request as **まべてのパッケージ** バージョン: ローカル 1.0.0 Auxiliobits.DataTableToJson.Activities 作成者: Sandee v1.0.0 ランタイム ルール: ③ オフィシャル プロジェクトを検索 (Ctrl+Alt+P) This Component convert datatable into json string ストリクト

インストール マーケットプレース ∨ 📵 読み上げライブラリ UiPathTeam.JsonDataConverter.Activities 作成者: Rahı v1.1.0 A package containing 3 custom activities for This Component convert datatable into ison string ∨ 🔚 依存関係 ON/JArray to other data formats: UiPath 🎂 管理 マーケットプレースを選択 to CSV file 2.10.3-preview バージョン: 1.0.0 右クリック v12.0.3 on 作成者: James Newton-King 作成者: Sandeep Pathak UiPath.Mail.Activities = 1.10.3-preview Json.NET is a popular high-performance JSON framework for .NET ライセンス: ライセンス情報を表示 UiPath.System.Activities = 21.4.0-preview 公開日: 2020/10/29 6:56:51 UiPathTeam.JSONUtilities.Activities 作成者: tuhin.sama v0.5.5 This Package contains following activities: UiPath.UIAutomation.Activities = 21.4.1-preview タグ: Json,web,Web,Data ,Processing 1. Convert Datatable to JSON 2. Convert JSON to CSV > ______.settings Jii Main.xaml

保存

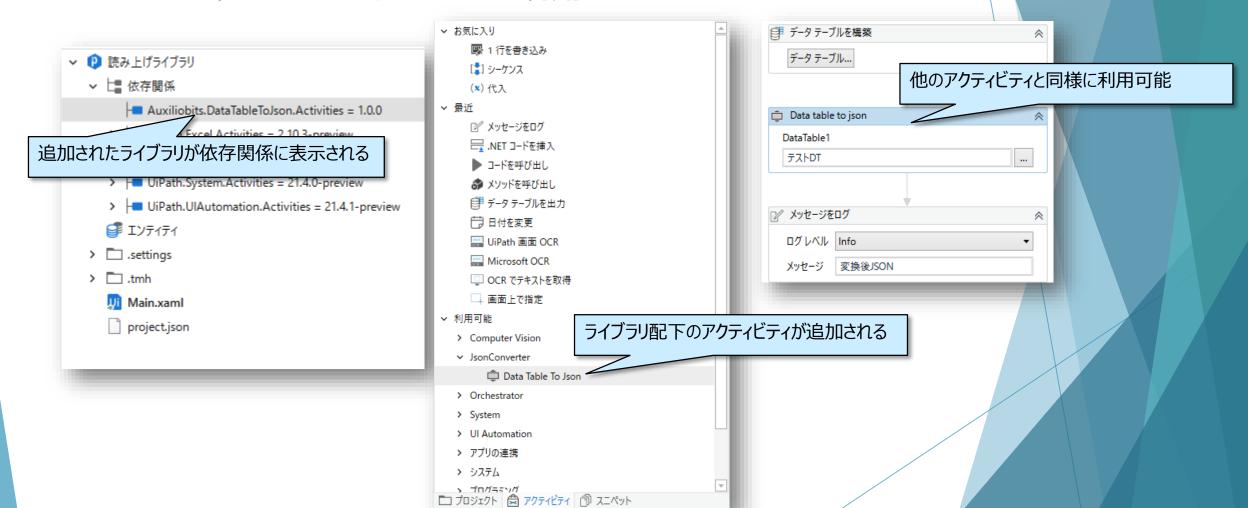
キャンセル

3rdパーティUiPathライブラリの利用

ライブラリIDがクリップボードコピーされる パッケージ管理画面に入力して検索すると該当ライブラリを追加できる



3rdパーティUiPathライブラリの利用



練習時間

練習時間(10分)

~~ライブラリの利用練習~~

サイト「https://info.finance.yahoo.co.jp/ranking/?kd=1&tm=d&mk=1」をアクセスし、画面の銘柄情報をデータテーブルに抽出して、JSONフォーマットに変換したうえ、ログに出力してください。

※データテーブルからJSONへの変換は下記ライブラリを利用してください。

https://marketplace.uipath.com/ja/listings/datatable-to-json-string

UiPathライブラリ ライブラリ化するメリット

- ▶ 1つのワークフローで取り扱う問題を小さくする。
- ▶ 重複する処理を集約して、同一のライブラリとして部品化する。
- ライブラリ単位でテストができるようになる。
- チーム開発を容易にする。
- ▶ 今後の開発で流用できる。 —

以前紹介したサブワークフロー化のメリットがラ イブラリにもすべてある

UiPathライブラリ ライブラリを開発する

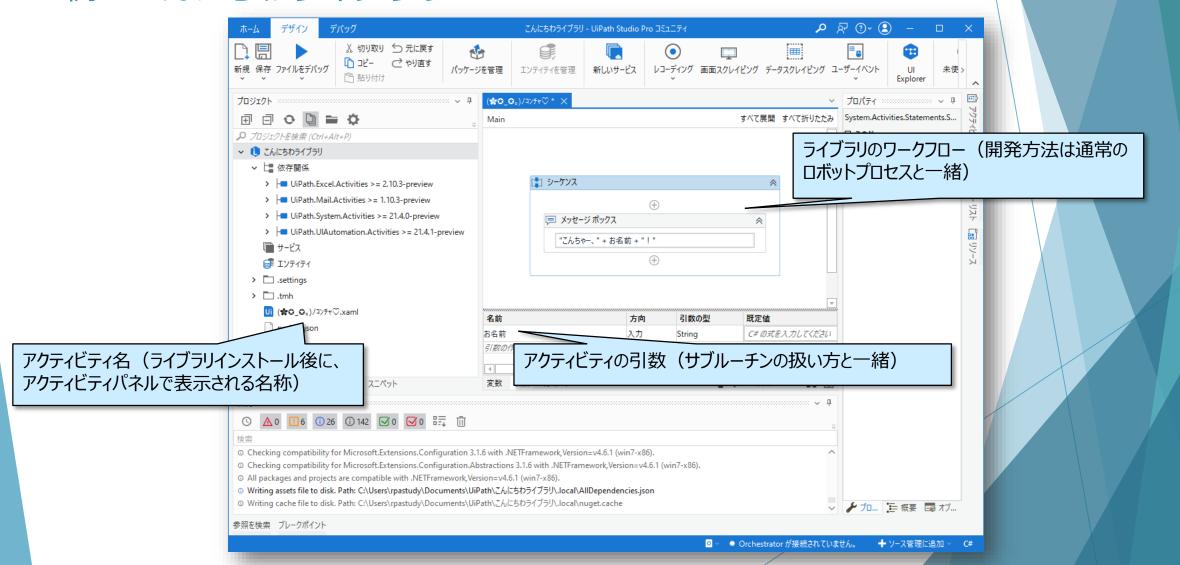
ライブラリとサブワークフローの違い

	ライブラリ	サブワークフロー
複数のUiPathプロジェクト 間の流用性	そのまま流用可能	コピーペすれば流用可能
依存管理	されている	されない
バージョン管理	されている	されない

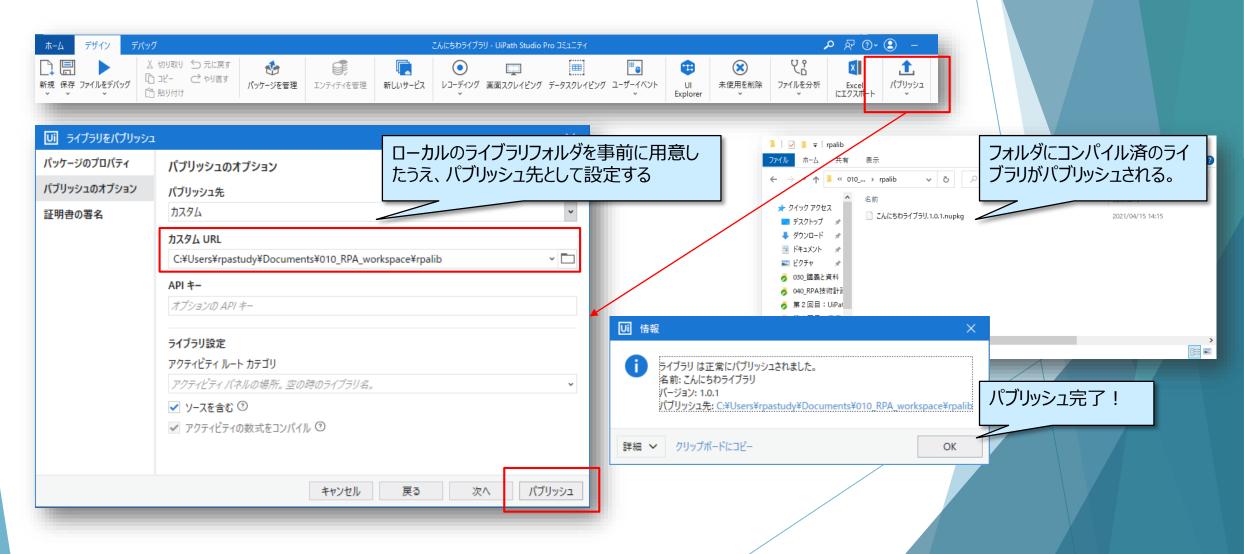
UiPathライブラリ ライブラリを開発する



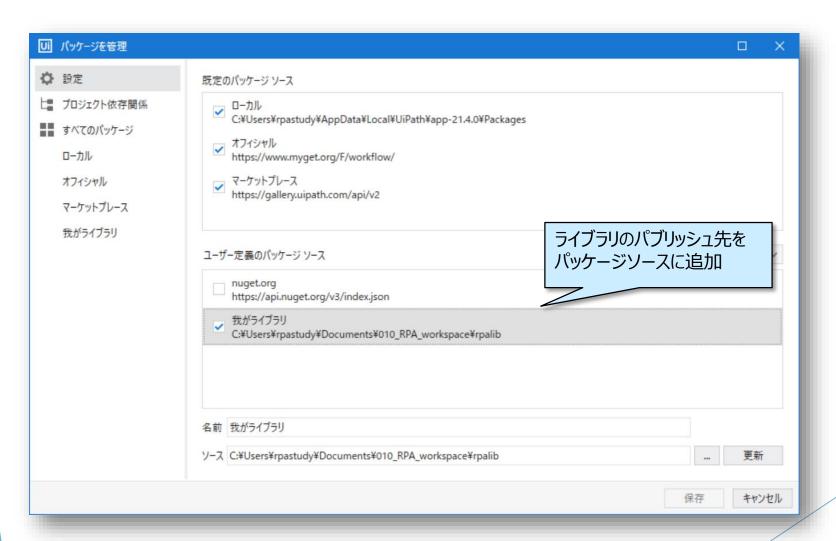
例:こんにちわライブラリ



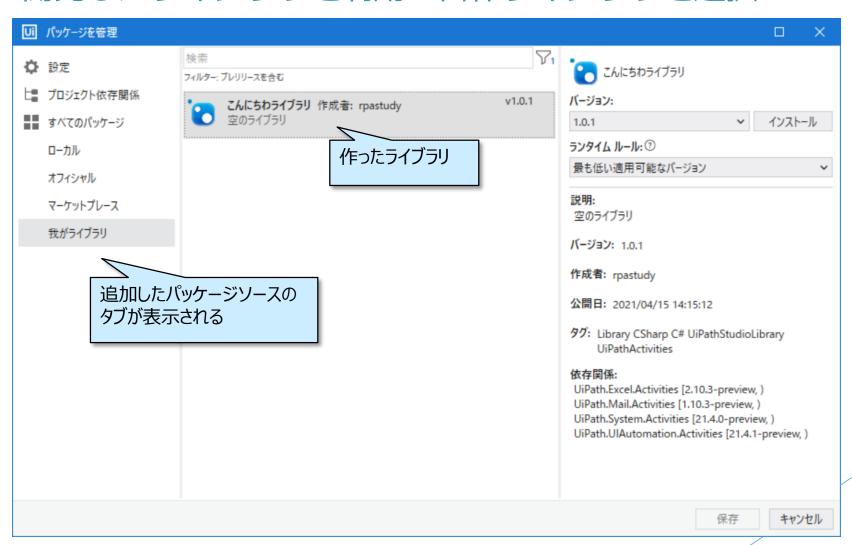
UiPathライブラリ ライブラリのパブリッシュ



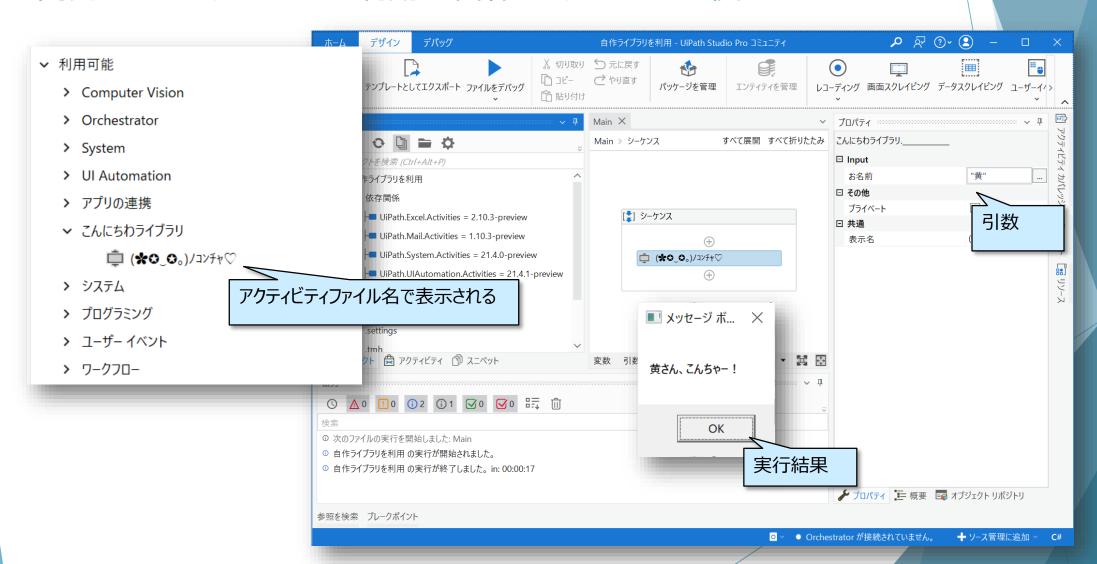
開発したライブラリを利用:パッケージソースの追加



開発したライブラリを利用:自作ライブラリを選択



開発したライブラリを利用:自作ライブラリを使う



練習時間

練習時間(10分)

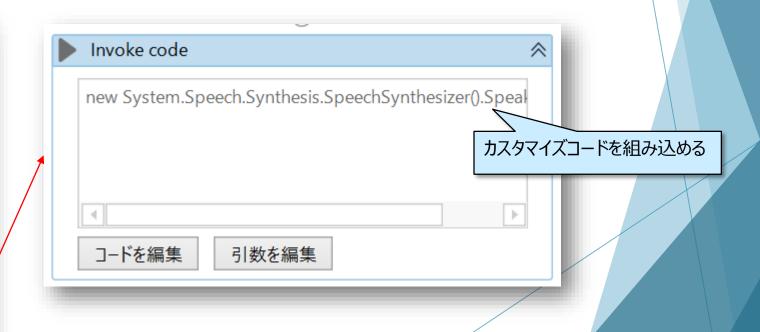
~~ライブラリの開発練習~~

サンプルの「こんにちわライブラリ」を作って、ロボットプロセスから呼び出してください。

カスタマイズコーディング 「コード呼び出し」アクティビティについて

「コード呼び出し」アクティビティを利用して、C#もしくはVB.netで書いた コードをロボットプロセスに組み込むことができる。 「コード呼び出し」をう まく利用することで、より安定的な、強いロボットを作れる。

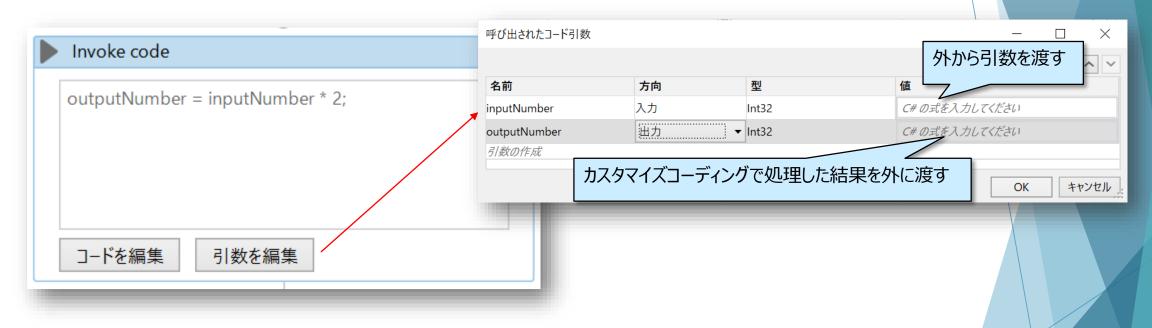




カスタマイズコーディング なぜカスタマイズコーディングが必要か

比較項目	UI操作系のRPA (UiPath、…)	伝統的なプログラミング言語 (Java、C#、…)	
開発ハードルの高さ	やや低い 業務担当者自らでも開発可能 注:入門が簡単だが、メンテンナンス性、拡 張性、安定性の高いロボットを開発するのに、 右記の知識が必要になってくる。	高い コーディング、ソフトウ いとまずは作れない	した比較表
移植しやすさ	移植がやや面倒 稼働環境が開発環境との一致性(ソフト、解 像度、設定など)を保たないとリリース後に 動かない可能性が高い		
UI操作	得意 UI操作のために生まれた技術なので、得意なのは当然	普通はやらない .netならマウスイベントなどを発生させることもできるのだが、開発がとても難しい	
スピード	遅い 人間のようにUI操作で処理するため、人間の 操作と比べ数倍だけ早い。それに実行中にUI を占有するため、二重実行が不可。	高速 CPUとメモリの世界で動くため、RPAの数万倍も速い。マルチスレッド実行も可能。	

サンプル①:数字二倍化



入力した数字を二倍にして返すカスタマイズ処理

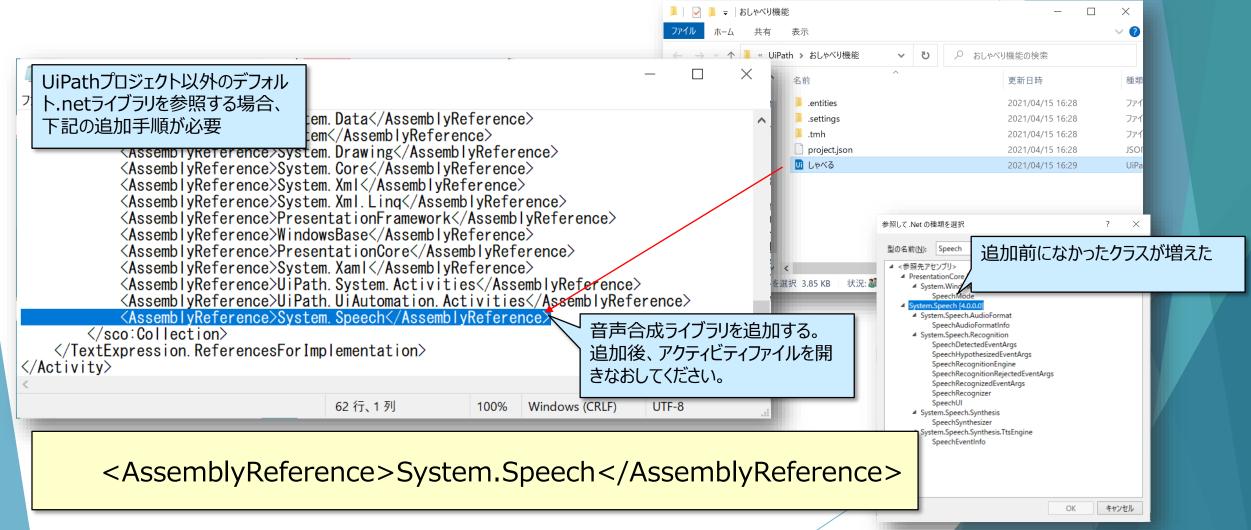
サンプル②:おしゃべり



new System.Speech.Synthesis.SpeechSynthesizer().Speak(テキスト);

音声合成のライブラリはUiPathのデフォルトについてないため、 次のページに従い、追加する必要がある。

.netリファレンスの追加



株価の読み上げ

銘柄コードを入力



読み上げ:

三菱UFJフィナンシャル・グループの株価は538.8円です!

質問コーナー

宿題

~~株価読み上げロボ~~

カスタマイズコーディングの株価読み上げロボットを完成してください。

- ■処理内容
- ①「おしゃべりライブラリ」を完成してパブリッシュする。
- ②ロボットプロセスの利用者に銘柄コードを入力してもらう。
- ③銘柄コードで下記サイトから銘柄名称と株価を取得する。 サイト「https://finance.yahoo.co.jp/quote/4481.T」
- ④[銘柄名] + "の株価は" + 「株価」 + "です!"の文字列を組み立てる。
- ⑤上記文字列を①の「おしゃべりライブラリ」で読み上げる。

次回予告

第5回目: 高度なUiPath機能(3)(5/6(木)19時)

▶ リモートデスクトップ処理の自動化

4月29じゃない、ご注意!

- ▶ デバッグ方法の紹介
- ▶ Gitでロボットのバージョン管理を行う